

## 倫理規程

### 第1章 総 則

#### (目 的)

第1条 この規程は、株式会社百（以下「法人」という）の、企業倫理を確立し、社会の信頼を得る目的で定める。

#### (役員・役職者の責務)

第2条 役員および役職者は、この規程の精神を実現することが自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、関係者に周知徹底しなければならない。

#### (行動の原則)

第3条 会社は、経営活動全般について、すべての法令を誠実に遵守するとともに、社会的な良識をもって行動する。

#### (規程違反への対応)

第4条 当法人は、この倫理規程に違反する重大な事案が発生した場合、以下の対応を講じる。

1. 代表取締役を先頭にして原因の究明、再発防止策の策定および実行を行う。
2. 必要に応じて社内外への適切な情報開示を行い、説明責任を果たす。
3. 規程違反に関わった役員を含む当事者に対して、以下の処分を実施する場合がある。
  - ・ 口頭注意
  - ・ 書面による注意
  - ・ 減給処分
  - ・ 解任

#### (基本方針)

第5条 当社はコンプライアンスの実行を経営や事業に関わる重要課題と認識し、以下の基本方針で積極的な取り組みを行う。

1. 法令を遵守するとともに、企業倫理及び社員の行動規範の達成を図る。
2. 公正で明朗な事業運営に努め、よき企業市民を目指すことを追求する。

#### (利益相反等の防止及び開示)

第6条 役職員等は、その職務の執行に際し、当法人との利益相反取引が生じる可能性がある場合には、その事実の開示その他当法人が定める所定の手続に従わなければならない。

(特別の利益を与える行為の禁止)

第7条 役職員は、特定の個人又は法人の利益のみの増大を図る活動を行う者に対し、寄付その他の特別の利益を与える行為を行ってはならない。

(情報開示及び説明責任)

第8条 当法人は、その事業活動に関する透明性を確保するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を必要に応じて開示し、社会の理解と信頼の向上に努めなければならない。

(個人情報の保護)

第9条 当法人は、業務上知り得た個人的な情報の保護に万全を期すとともに、個人の権利の尊重にも十分配慮しなければならない。

(研鑽)

第10条 役職員等は、当法人の事業活動の成果の向上のため、絶えず自己研鑽に努めなければならない。

付 則

(実施期日)

第11条 この規程は、2022年7月1日より実施する。